

## 理由書記載要領

該当欄	記載内容と要領
身体状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活動作に関する身体状況（移動、立ち上がり、姿勢保持など）</li> <li>屋内外での移動方法（自立歩行、伝い歩き、介助歩行、歩行器利用など）</li> <li>身体状況を記載するに際し、特記すべき傷病</li> </ul>
	現在どのような不便があるか、その要因（傷病等）を交えて記入すること。
	※現在は不便がないが、傷病等の発生により、今後の生活において危険性があるときは、予防として、傷病等の発生状況を交えて記入すること。
介護状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護サービスの利用状況（今後の利用予定含む）</li> </ul>
	例：（デイを週2で利用、入浴介助も受けている。）
	（排泄についてはポータブルトイレを使用。）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>家族からの介護状況、屋内外の主な介護者</li> </ul>
	例：（排泄や入浴の介助は、長男の妻が主に行っている。）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>本人や家族の居住状況</li> </ul>
	例：（独居であるが、同一敷地内に長男夫婦が居住。）
（妻と二人暮らしで、妻は健常者である。遠方から娘が様子を見に来る。）	
住宅改修により利用者等は日常生活をどう変えたいか	<ul style="list-style-type: none"> <li>改修によって日常生活（ADL面、介護状況、社会参加）はどう変わるか、どのような負担解消が期待されるか</li> </ul>
	例：（家屋が古く段差が多いことで、転倒のリスクが高いため、手摺を設けることにより安全に生活できるようにしたい。）
	（縦手摺を設けて立ち座りを容易にし、排泄を1人で出来るようにしたい。）

P2については記入例（P2）参照。

### その他記載欄等について

- 申請書の内容と相違がないようにすること。
- ケアマネジャーの氏名等を忘れずに記入すること。 ※契約自体していない場合は「契約なし」と記載
- 理由書作成者はケアマネジャーか資格所有者であること。

住宅改修が必要な理由書（記入例・要領）

〈基本情報〉

利用者	被保険者番号	〇〇〇〇〇〇		年齢	85 歳	生年月日	明治 大正 昭和 12 年 1 月 2 日	性別	<input checked="" type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
	被保険者氏名	銚子 太郎		要介護認定(該当に○)	要支援 1・2	要介護 1・②・3・4・5			
	住所	銚子市〇〇町1-2-3		住民票の住所地 居住地は×					

作成者	現地確認日	令和4年3月31日	作成日	令和4年3月31日
	所属事業所	銚子工務店		
	資格 <small>(作成者が介護支援 専門員でないとき)</small>	福祉住環境コーディネーター2級		
	氏名	〇〇 〇〇		
	連絡先	××××-××-××××		
介護支援事業所	〇〇事業所	CM	〇〇 〇〇	

保険者	確認日	令和 年 月 日	評価欄
	氏名		

※ 保険者欄は、記入しないでください

普段の歩行や足の上がり等、日常動作でどういった負担があるか、傷病等を交えて記入。

改修前と、改修後で利用が想定されるものにチェック

<総合的状況>

利用者の身体状況	普段の歩行は杖(用具レンタル)。〇月〇日外出先で転倒してから、足の上がりが悪くなってしまった。 大きな段差は玄関のみで、転倒以前は杖と壁に手をつけて昇降していた。 多少の段差であれば杖を使いながら昇降可能。	福祉用具の利用状況と住宅改修後の想定		
	介護状況	通所介護を週1回利用。長男夫婦と同居。 現在大きい段差の昇降が難いため、玄関の昇降では家族の介助を受けている。 外出する際も、転倒防止のため家族と出かけている。	改修前	改修後
		住宅改修により、利用者等は日常生活をどう変えたいか	改修によりどう負担が解消されるか、改修内容を踏まえて記載。	

福祉用具の利用状況と住宅改修後の想定	改修前	改修後
● 車いす	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
● 特殊寝台	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
● 床ずれ防止用具	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
● 体位変換器	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
● 手すり	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
● スロープ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
● 歩行器	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
● 歩行補助つえ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
● 認知症老人徘徊感知機器	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
● 移動用リフト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
● 腰掛便座	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
● 特殊尿器	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
● 入浴補助用具	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
● 簡易浴槽	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
● その他		
・ _____	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
・ _____	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
・ _____	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

住宅改修が必要な理由書（記入例・要領）

<P1の「総合的状況」を踏まえて、①改善しようとしている生活動作②具体的な困難な状況③改修目的と改修の方針④改修項目を具体的に記入してください。>

活動	①改善しようとしている生活動作	② ①の具体的な困難な状況(…なので…で困っている)を記入してください	③ 改修目的・期待効果をチェックした上で、改修の方針(…することで…が改善できる)を記入してください。	④改修項目(改修箇所)
排泄	<input type="checkbox"/> トイレまでの移動 <input type="checkbox"/> トイレ出入口の出入(扉の開閉を含む) <input type="checkbox"/> 便器からの立ち座り(移乗を含む) <input type="checkbox"/> 衣服の着脱 <input type="checkbox"/> 排泄時の姿勢保持 <input type="checkbox"/> 後始末 <input type="checkbox"/> その他( )	例: ・居室からトイレへの移動は伝い歩きだが、歩行バランスが不安定で、転倒の危険性がある。  ・便座への着座で、つかまるものがなく介助が必要になる。	<input type="checkbox"/> できなかったことをできるようにする <input type="checkbox"/> 転倒等の防止、安全の確保 <input type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input type="checkbox"/> 介助者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 手すりの取り付け (廊下の移動経路 ) (トイレ内立ち座り用 ) (上がり框横壁面 ) ( ) ( ) ( )
入浴	<input type="checkbox"/> 浴室までの移動 <input type="checkbox"/> 衣服の着脱 <input type="checkbox"/> 浴室入り口の出入(扉の開閉を含む) <input type="checkbox"/> 浴室での移動(立ち座りを含む) <input type="checkbox"/> 洗い場での姿勢保持(洗体・洗髪を含む) <input type="checkbox"/> 浴槽の出入(立ち座りを含む) <input type="checkbox"/> 浴室での姿勢保持 <input type="checkbox"/> その他( )	例: ・居室から浴室への移動は「排泄」と同じ。 ※ほかの欄と同じ内容であれば、省略しても良い。  ・浴槽は○cmの縁高があり、入る際には介助を必要としている。	<input type="checkbox"/> できなかったことをできるようにする <input type="checkbox"/> 転倒等の防止、安全の確保 <input type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input type="checkbox"/> 介助者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他( )	<input type="checkbox"/> 段差の解消 (上がり框に踏み台設置 ) (浴槽取替え ) ( )  <input type="checkbox"/> 引き戸等への扉の取替え ( ) ( ) ( )
外出	<input type="checkbox"/> 出入口までの屋内移動 <input type="checkbox"/> 上がりかまちの昇降 <input type="checkbox"/> 車いす等、装具の着脱 <input type="checkbox"/> 履物の離脱 <input type="checkbox"/> 出入口の出入(扉の開閉を含む) <input type="checkbox"/> 出入口からの敷地外までの屋内移動 <input type="checkbox"/> その他( )	例: ・玄関の扉の開閉時につかまるものがないため、動作が不安定。  ・上がり框に○cmの段差があり、介助なしでは上がることが困難。	<input type="checkbox"/> できなかったことをできるようにする <input type="checkbox"/> 転倒等の防止、安全の確保 <input type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input type="checkbox"/> 介助者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他( )	<input type="checkbox"/> 便器の取替え ( ) ( )  <input type="checkbox"/> 滑り防 ( ) ( ) ( )
その他の行為	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>改善が必要なものについてチェックをつける。 ※今回改修の対象でない項目にはチェックしなくて良い。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>①でチェックしたものについて、具体的な生活動作の問題点、介護の現状などを記述。  ※改修案の検討の際は、全ての行為についてチェックが必要だが、理由書では、改善しようとする行為に限定したコメントが良い。</p> </div>	<input type="checkbox"/> できなかったことをできるようにする <input type="checkbox"/> 転倒等の防止、安全の確保 <input type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input type="checkbox"/> 介助者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他( )	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>改修内容の項目にチェックをつける。  ( )内に詳細を記述  ※改修箇所は場所だけでなく、取付箇所まで記述。</p> </div> <input type="checkbox"/> その他 ( ) ( ) ( )

①②をふまえた改修目的の項目にチェックをつける。  
  
右側の空欄には、どのような改修を行うのか、改修を行うことで何ができるようになるかなどを記入する。  
※「手摺の設置」などの限定的な表現でなくても良い。